



ニュースレター



第46号 平成28年9月15日

— 被災地での活動も5年目に —



6月15日 浜松市立富塚小学校 Vn.久保田巧さん、P.村田千佳さん

■被災地出身演奏家が学校訪問コンサートへ■

2012年の秋から毎年春と秋、(株)豊田自動織機と協力して東日本大震災被災地の大船渡市と陸前高田市で開催している「学校訪問コンサート」は、1日2校、2日間で4校の小学校を訪ねます。今年の春は、ヴァイオリン・郷古廉さんとピアノ・津田裕也さんをお願いしました。偶然にもお二人は被災地の多賀城市と仙台市の出身で、特に郷古さんはウィーンから帰国中に東日本大震災を地元で経験されたそうです。演奏会のあと郷古さんは「震災直後は被災地で演奏する気持ちになることができなかった。今回初めて訪ね、子どもたちの元気な顔を見ることができて本当に良かった。



5月31日 大船渡市立末崎小学校
郷古さん、津田さん

ぜひまた演奏したい。」と話しておられました。

今回は、訪問コンサートの調律でお世話になっている会員の瀬川宏さんが「被災地の子どもたちやピアノの状況を見たい」と自費で同行されました。

会場の様子やピアノの状態を確認し、最終調整をされ、また、毎回現地のピアノを調律して下さっている地元の調律師の方に、瀬川さんならではのアドバイスをされていました。



子どもたちに楽器の話をする郷古さん



鍵盤を引き出して調整する瀬川さん

■ご報告■「子どもに音楽を」設立10周年記念コンサートとアンケート結果について

5月19日(木)紀尾井ホールで開催した「子どもに音楽を 設立10周年記念コンサート」(ヴァイオリン・榎大進さん、ピアノ・小菅優さん、チェロ・クラウディオ・ボルケスさん)は、皆様のご協力のおかげで無事に終了致しました。約700人のご来場があり、多くの方からとても良かったという感想をいただきました。コンサートで得られた収益を「子どもたちへの演奏会」の資金に充てるという目的の一つも達成することが出来ました。心から感謝を申し上げます。

なお当日NHKが収録した番組は7月15日(金)午前5時~5時55分BSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されました。

皆様にごいただいたアンケートの一部をご紹介します

*クラシック音楽を聴くようになったきっかけは?

「クラシック好きの母に小さい時から連れられて膝の上でコンサートを聴いた」「幼い頃から両親が聴かせてくれたので自然と好きになった」「小学校でのコンサートがきっかけ」「中学生の頃、野外コンサートで『ドヴォルザークの新世界より』を聴いて感動」

*その他

「子どもの頃に良い音楽を聴かせることは大切と実感します」「長く続けるということは大事な事。継続は力なり、これからも頑張ってください」

このような回答をいただき「子どもの頃から本物の音楽に触れる」「継続することの大切さを改めて実感しました。今後もこの二つを忘れることなく活動していきたいと思います。



ベートーヴェン ピアノ・トリオ

■9月・10月の活動のお知らせ(9月15日現在)■

- | | | | |
|-----------------|------------------|-------------------|----------------|
| 9月20日 浜松市立舞阪小学校 | Vla.井野邊大輔、P.広海滋子 | 10月19日 大府市立吉田小学校 | Vn.南紫音、P.大須賀恵里 |
| 9月30日 浜松市立新津小学校 | Vc.岡本侑也、P.大須賀恵里 | 10月20日 高槻市立第二中学校 | Vn.南紫音、P.大須賀恵里 |
| 10月12日 高浜市立翼小学校 | Vc.古川展生、P.安宅薫 | 10月21日 高浜市立港小学校 | Vn.戸田弥生、P.高木梓 |
| | | 10月25日 横浜市立日吉南小学校 | Vn.長原幸太、P.未定 |